

平成27年度 地震対応図上型防災訓練 実施計画

1 訓練目的

今世紀前半の発生が危惧されている「南海トラフを震源とした巨大地震」の発生を想定し、図上型防災訓練を実施することにより、地震発生時の初動期における災害対策本部が行なうべき状況判断（意思決定）と役割の確認や、応急対策活動上の問題点及び課題を抽出するとともに、本市災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

2 実施日時

平成27年5月29日（金） 14時00分～16時30分

3 訓練会場

市役所本庁舎 5階 本部室（災害対策本部事務局運営）及び
本部会議室（災害対策本部会議）

4 訓練参加機関・参加者

（1）【プレーヤー部】松山市災害対策本部（90名程度）

災害対策本部長、副本部長、本部長付、本部員及び災害対策本部事務局員

（2）【コントローラー部】統括係、状況付与係（30名程度）

四国地方整備局松山河川国道事務所、松山地方気象台、陸上自衛隊第14特科隊、愛媛県、松山東・西・南警察署、市職員

5 訓練実施要領

（1）訓練想定

平成27年5月29日（金）14時00分、南海トラフを震源としたM9.0（市内最大震度7）の地震が発生。

大きな揺れにより、市内各地で家屋の倒壊や道路の損壊等で甚大な人的・物的被害が発生するとともに、瀬戸内海沿岸に大津波警報（特別警報）が発表される。（松山市最大津波高3.9m）

（2）訓練方式

ア「図上シミュレーション方式」

実際の災害時に近い場面を設定して、コントローラーから電話や状況付与票等で付与される災害状況を、プレーヤーである災害対策本部が収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害対処活動を図上で行なう。

なお、電話や状況付与票等による状況付与に基づき、対応記録票や時系列管理シートの記入を徹底するとともに、情報連絡票を活用してプレーヤー間の情報交換を促す。

イ「ブラインド方式」

事前にシナリオをプレーヤーに明かさない方法で実施する。

(3) 主要訓練項目

ア 地震発生直後における、市及び関係機関等が連携した初動対応

(ア) 情報の収集・処理（整理・分析・伝達）及び情報の共有

(イ) 優先順位に応じた応急対策の検討

(ウ) 防災関係機関等との連絡調整

イ 災害対策本部事務局内の連携要領

(ア) 災害対策本部及び災害対策本部事務局の運営状況を検証

(4) 過去の大規模災害の教訓を受けた訓練内容

ア 停電状態での災害対策本部の設置（開始10分間）

イ 通信制約下での連絡手段の活用（開始30分間）

ウ 大津波警報発表時の対策方針決定（標高マップの使用）

6 訓練スケジュール

13:50	訓練事前放送
14:00	訓練開始（地震発生）
14:05	第1回災害対策本部会議（所要時間5分程度）
15:00	第2回 "（所要時間10分程度）
16:00	訓練終了
16:00～16:30	全体討議、訓練講評・挨拶
16:30	終了

7 その他

市長、副市長及び本部員等参加のもと、災害対策本部会議を2回開催します。

(1) 第1回参加者

副本部長（西泉副市長）、本部長付、本部員

(2) 第2回参加者

本部長（野志市長）、副本部長（遠藤副市長、西泉副市長）、本部長付、本部員

以上